

《平成29年度 農業委員会事務局 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

事務局長 村井 治夫

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
1	<p>・市街化調整区域の農地について、開発行為が増加傾向にあります。</p> <p>・農業収入では安定的な生活が見込めない不安や、後継者のいない高齢の農業者が増加し、農地の売却(宅地等への転用)につながっているケースや、耕作のできない圃場が増加傾向にあり、耕作放棄地が発生する要因となっております。</p>



2. 重点目標	
①	<p>・農業委員会と関係機関が連携しながら、担い手への農地利用の集積を図るとともに、農地パトロールの実施や農地の斡旋を行うなど、無断転用地や耕作放棄地の解消に努めます。</p> <p>・農家の農業経営不安について、また耕作放棄地への対策について、市農林部局との協議を重ねて連携を図ります。</p>



3. 目標達成のための取組と成果目標	
①	<p>【取組】 農林水産課が実施する「人・農地プラン」の見直し等を通じ、各地域と農業委員会、関係機関が連携し、担い手への農地利用の集積を推進します。</p> <p>【成果目標】 市内全体の担い手への農地集積率 (農地等の利用の最適化の推進に関する指針より、全農地に対する割合) 平成29年度 48.1%(平成28年度:43.0%)</p>
②	<p>【取組】 農業委員会と関係機関が連携し、農地パトロールを実施するなど、無断転用地や耕作放棄地の発生防止、解消を推進します。</p> <p>【成果目標】 遊休農地の解消目標(遊休農地の割合) 平成29年度 0.3%(平成28年度0.4%)</p>



4. 課題解決に向けた平成29年度の具体的な取組 【年度末実績】	
①	<p>【取組実績】 人・農地プランの見直しにあたり、担い手の意見交換会を開催し、集積への周知に努めました。</p> <p>【成果目標実績】 平成29年度末 45%(担い手の農地利用集積状況調査より)</p>
②	<p>【取組実績】 平成29年度から農地利用最適化推進委員による農地パトロールを行い、耕作放棄地の所有者に対して適正な管理または請負耕作についての相談・指導等を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 平成29年度末 0.5%</p>